

「ブルークロローバー！ キヤンペーン」

「パパの明日を守りたい！」

あまり聞き慣れない「ブルークロローバー・キヤンペーン」。皆さんはこのキヤンペーンをご存知ですか。これは、前立腺がんの「早期発見・適切な治療」の大切さを伝えるために、1990年代にアメリカでスタートした運動です。



日本でも急増

前立腺がんはこれまで、日本ではあまり多くみられるがんではありませんでした。しかし、欧米では男性のがんの中で、最も発生頻度の高いがんです。日本でも、近年は高齢化や食生活の変化に伴い急増しています。死亡率は50年前に比べると17倍になつており、2020年には、肺がんに次いで第2位になると予測されています。

一方で、前立腺がんは比較的ゆっくりと進行し、効果の高い治療法も多いため早期発見・早期治療が大変有効です。検診で早期発見をすることが大切ですが、日本では欧米諸国に比べてまだまだ検診受診率が低いのが現状です。そこで、「急増しているものの、

見つけやすく治しやすい前立腺がん」に対する理解を深め、検診受診を広め、早期発見・適切な治療を推進することを目的に「ブルークロローバー・キヤンペーン」が日本でも2006年からスタートしました。男性特有のがんという点もあり、6月の父の日イベントを開催するなど、全国的に展開されています。

前立腺がんの症状は？

前立腺がんの多くは、尿道や膀胱から離れた場所に発生します。そのため、早期の前立腺がんには、自覚症状がほとんどありません。がんが進行すると、尿が出にくい、排尿時に痛みを伴う、尿に血が混じる、などの症状がみられることがあります。さらに進行すると、骨に転移しやす

く臀部や腰を中心に体内に転移し、痛みを生じることもありま

大切なことは早期発見

前立腺がんの治療を効果的に行うためには、症状が出る前にがんを発見することが非常に大切です。そこで、症状のない早期のがんを発見するために広く行われているのが、「PSA検査」と呼ばれている血液検査です。少量の血液だけで簡単に検査ができ、しかも精度が高いことから、前立腺がんの診断法として確立されています。

50歳を過ぎたら年一回検診を

市が実施する生活習慣病健康診査の集団健診では、50歳以上

年に一度の「お約束」

「ブルークロローバー」の花言葉は「約束」です。年に一度、前立腺がんの検診を受ける「約束」を大切な人のためにしませんか？このシンボルマークを見かけたら、「約束」を思い出してください。

